

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に地域密着型サービスの意義が入っていない。理念に基づいてサービスの提供が出来ているのか振り返る機会があまりない。	理念に地域密着型サービスの意義を盛り込み、理念に基づいたサービス提供が出来るように取り組む。	理念を再考し、地域密着型サービスの意義を盛り込み、職員会議やカンファレンスの際に理念に則したサービスの提供が出来ているのかを振り返る。	3ヶ月
2	26	医療や介護の情報、今までの生活歴をまとめたフェイスシートが整備されていなかった。日々の介護記録はあるが、介護計画に沿ったものでもないものもあり、カンファレンスの記録もしっかりと整備されていなかった。	フェイスシートを作成して職員の間で人物像を共有できるようにする。介護記録に沿ったサービスが出来ていることを日常の介護記録に残す。カンファレンスや関係者の意見の記録を残す。	人物像が共有できるフェイスシートの作成。介護計画の短期目標に沿った介護記録をつけて次回のモニタリングの際に有用な情報になるようにする。モニタリング時の職員や関係者の意見はすべて記録に残す。	6ヶ月
3	49	コロナ禍で外出の機会が減り、室内で過ごすことが多くなった。密を避けるために車でのドライブや屋外の外出はしているが以前と比べると少なくなってしまった。	コロナ禍以前のように月に1度程度、利用者様の希望に添えるような外出支援を行う。	密を避けれる屋外以外にも、感染対策が万全に取れている施設やお店などを職員で探し、計画を立てる。	6ヶ月
4	48	利用者様ノ嗜好に合わせたレクリエーション等を用意しているが、コロナ禍で外出できない分、さらに充実させていく必要がある。	外部のサービスを導入するなどして、コロナ禍でも気分転換できるように支援する。	NPO法人や地域でレクリエーション等を提供している団体等がないか探してみる。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。